

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期	
科目名	教育心理学(初等教育)	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	中井 和弥	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設で2年半児童の心理支援に携わった経験に基づき、保育現場で生きる心理学教育を行う。					
授業のねらい (到達目標)	教育心理学における基礎的知識を理解し、概説することができる。教育・保育場面の様々な事象を心理学的に理解し、教育・保育実践に応用することができる。					
授業概要	発達、学習、パーソナリティ、測定・評価のような基礎的知識の修得はもちろんのこと、事例にのっとり、それらの知識をいかに初等教育(幼稚園・小学校)の実践に役立てていくのかを検討する。併せて、現実の教育現場で起きている問題への応用を考える。					
テキスト	教育心理学 ルックアラウンド					
授業計画	第1回	教育心理学とは				
	第2回	教育心理学のあゆみ				
	第3回	子どもの発達—遺伝と環境、レジリエンスの概念—				
	第4回	知能—知能の概念の有効性と限界—				
	第5回	性格(パーソナリティ)—性格の概念と個人差—				
	第6回	学習のメカニズムについて				
	第7回	学ぶ意欲と授業の課程—動機づけとさまざまな授業方法—				
	第8回	学習の評価—教育評価の方法とテスト—				
	第9回	集団としての子ども—教育現場の社会心理学—				
	第10回	子どもの不適応行動1—いじめの問題—				
	第11回	子どもの不適応行動2—不登校、非行などの問題—				
	第12回	子どもの不適応行動3—現代を生きる子ども—				
	第13回	学校カウンセリングの基礎				
	第14回	進路指導と進路の選択				
	第15回	障害のある子どもの理解				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期	
科目名	教育心理学(中等教育)	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	中井 和弥	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設で2年半児童の心理支援に携わった経験に基づき、保育現場で生きる心理学教育を行う。					
授業のねらい (到達目標)	教育心理学における基礎的知識を理解し、概説することができる。教育・保育場面の様々な事象を心理学的に理解し、教育・保育実践に応用することができる。					
授業概要	発達、学習、パーソナリティ、測定・評価のような基礎的知識の修得はもちろんのこと、事例にのっとり、それらの知識をいかに初等教育(幼稚園・小学校)の実践に役立てていくのかを検討する。併せて、現実の教育現場で起きている問題への応用を考える。					
テキスト	教育心理学 ルックアラウンド					
授業計画	第1回	教育心理学とは				
	第2回	教育心理学のあゆみ				
	第3回	子どもの発達—遺伝と環境、レジリエンスの概念—				
	第4回	知能—知能の概念の有効性と限界—				
	第5回	性格(パーソナリティ)—性格の概念と個人差—				
	第6回	学習のメカニズムについて				
	第7回	学ぶ意欲と授業の課程—動機づけとさまざまな授業方法—				
	第8回	学習の評価—教育評価の方法とテスト—				
	第9回	集団としての子ども—教育現場の社会心理学—				
	第10回	子どもの不適応行動1—いじめの問題—				
	第11回	子どもの不適応行動2—不登校、非行などの問題—				
	第12回	子どもの不適応行動3—現代を生きる子ども—				
	第13回	学校カウンセリングの基礎				
	第14回	進路指導と進路の選択				
	第15回	障害のある子どもの理解				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期	
科目名	精神保健学	授業形態	講義	単位数	4単位	
担当教員	中井 和弥	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	高齢者施設で3年間認知症検査を行っていた経験や、カウンセリングルームでの5年のカウンセリング経験に基づき、精神保健に関する基本的知識を教授する。					
授業のねらい (到達目標)	精神保健の意義や課題といった基本事項を押さえながら、精神保健についてライフサイクル・地域・職種など、多様な観点から理解し、説明できる。					
授業概要	精神保健とは、精神的健康に関する公衆衛生であり、精神障害の予防・治療・リハビリテーションから、精神的健康の保持・増進を図るための諸活動までも含んでいる。このような精神保健の基本的視点や基本知識を学修し、現代の精神保健の意義や課題を考える。					
テキスト	精神保健学—精神保健の課題と支援					
授業計画	第1回	現代社会と精神保健, 精神保健の意義と課題				
	第2回	ライフサイクルにおける精神保健, 乳幼児期, 学童期				
	第3回	ライフサイクルにおける精神保健, 思春期, 青年期				
	第4回	ライフサイクルにおける精神保健, 成人期				
	第5回	ライフサイクルにおける精神保健, 老年期, 認知症について				
	第6回	我が国の精神障害対策				
	第7回	アルコール関連問題対策, 薬物乱用対策について				
	第8回	思春期の精神保健対策				
	第9回	地域精神保健活動, こころの健康づくり, 司法精神福祉対策				
	第10回	緩和ケアと精神保健, 精神保健における技法・カウンセリングやケアについて				
	第11回	家庭における精神保健, 学校における精神保健				
	第12回	地域精神保健の現状と課題, 精神保健福祉に関する調査研究				
	第13回	メンタルヘルスの諸問題における関連専門種の役割と連携				
	第14回	世界の精神保健				
	第15回	これまでの精神保健学の学修内容をまとめる				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期										
科目名	保育実践演習	授業形態	講義	単位数	2単位										
担当教員	原田 明子	実務経験の有無	○												
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育所での勤務経験から、現場で行われている保育と理論が一致する実践的指導を行う。														
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の専門知識の振り返りにより、保育の専門的基礎力の定着を図る。 ・専門的知識技能の実践応用、課題解決能力を高める。 														
授業概要	1) 現在の保育実践上の課題、子ども子育てに関する環境上の諸問題を自ら発見し、その改善策を考える。 2) 現在の保育問題を調べグループ討議、研究発表等を行う。														
テキスト	関口はつ江「保育の基礎を培う保育原理」														
授業計画	第1回	保育の基礎(保育者に必要な専門的スキルとはどのようなことかまとめ、保育者の責任と倫理を理解する)													
	第2回	子どもの最善の利益とは(その意味を考え、保育者としての使命はどのようなことか、実現における問題点は何かを考える。)													
	第3回	社会の現状と子育ての問題①(日本の子育て環境、保育制度の問題点を雑誌、新聞その他から最新資料を集め整理する)													
	第4回	社会の現状と子育ての問題②(グループごとにテーマを決め、問題を多角的に捉え、意見交換する。)													
	第5回	社会の現状と子育ての問題③(グループごとに問題改善策を考える)													
	第6回	社会の現状と子育ての問題④(グループ毎に学修したことを発表する)													
	第7回	社会の現状と子育ての問題⑤(グループ毎に学修したことを発表する)													
	第8回	保育者の実践力①(生活から行事へつなげる保育とは)													
	第9回	保育者の実践力②(生活から行事へつなぐための工夫や指導方法を考える)													
	第10回	保育者の実践力③(ロールプレイング)													
	第11回	保育者の実践力④(ロールプレイング)													
	第12回	保育者の実践力⑤(保育者に必要な技術とは)													
	第13回	保育者としての課題とそのためすべきことを考える													
	第14回	科目終了テスト													
	第15回	期末テスト													
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総合評価 算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠											
	50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	前期		
科目名	教育行財政	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	長島 弘一	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立小学校での36年の勤務経験から、小学校で求められる教師の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	教育行政の基本原理や教育行政組織等の基礎的知識を習得するとともに、就学、教育課程、教科書・教材、研修、学校施設・学級編成基準等に関する教育関係法令を中心に、教育行財政上の諸問題について考察する。						
授業概要	教育行財政の基礎を学び、就学、教育課程、教科書、教材、研修、学校施設、学級編成基準等に関する内容を関係法令を中心に学ぶ。						
テキスト	教育行政学(改訂新版)学文社						
授業計画	第1回	第1章 教育行政と教育行政学 教育行政の意義、主体、活動、課題について					
	第2回	第2章 教育行政を動かす組織 国の教育行政機関である文部科学省の職務権限について					
	第3回	第2章 教育行政を動かす組織 地方の教育行政機関である教育委員会の職務権限、私学行政は地方公共団体の長の権限					
	第4回	第3章 教育を受ける権利の保障 教育権:国家教育権説と国民教育権説、児童・生徒の権利:権利主体性と意見表明権を定めた子どもの権利条約					
	第5回	第3章 教育を受ける権利の保障 義務教育と就学保障について					
	第6回	第4章 学校の管理と運営 学校の管理運営組織、校務分掌について					
	第7回	第4章 学校の管理と運営 開かれた学校づくりや学校評価について					
	第8回	第5章 就学前の子どもたちの教育 就学前教育、幼児教育、保育制度について					
	第9回	第6章 教育費と教育財政 教育財政の制度について:義務教育費国庫負担制度					
	第10回	第7章 教育活動を支える諸条件 教育条件整備に関する法制度					
	第11回	第8章 生涯学習・社会教育行政 生涯学習、生涯教育・社会教育					
	第12回	第8章 生涯学習・社会教育行政 生涯学習、生涯教育・社会教育					
	第13回	第9章 教職員の養成・採用・研修と身分保障 教員研修:教員研修の意味と研修の種類					
	第14回	第9章 教職員の養成・採用・研修と身分保障 教員の服務と身分保障					
	第15回	第10章 教育課程行政と教科書 教育課程行政の基本的考え方、学習指導要領、教科書問題の歴史					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期		
科目名	教職実践演習(小学校)	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	宮城県公立小中学校 1.5か年, 山形県小学校教員9か年, 国立大学法人教員養成系大学および大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2か年						
授業のねらい(到達目標)	大学4年間で学んだ学習知と教育実習等で得られた教科指導力や生徒指導力等の実践知と統合を図り, 使命感や責任感に裏付けされた確かな実践的指導力を有する教員としての資質構築と確認を行う						
授業概要	① 使命感や責任感, 教育的愛情 ② 社会性や対人関係能力 ③ 幼児児童生徒理解や学級経営力 ④ 教科・保育内容の指導力						
テキスト	東京福祉大学指定テキストのほか, 国立大学法人上越教育大学「教職実践演習」ワークブックを						
授業計画	第1回	学級経営における教師の対応(ロールプレイング)					
	第2回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(集団討論)					
	第3回	学級経営における教師の対応(ロールプレイング)					
	第4回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(集団討論)					
	第5回	学級経営における教師の対応(ロールプレイング)					
	第6回	教育課題解決への教師としてのアプローチ(集団討論)					
	第7回	「私の学級経営方針」(意見発表と交流)					
	第8回	「私の学級経営方針」(意見発表と交流)					
	第9回	授業設計と模擬授業:5時間 ア 研究題材の提示 イ 授業展開構想の発表 ウ 模擬授業					
	第10回	授業設計と模擬授業:5時間 ア 研究題材の提示 イ 授業展開構想の発表 ウ 模擬授業					
	第11回	授業設計と模擬授業:5時間 ア 研究題材の提示 イ 授業展開構想の発表 ウ 模擬授業					
	第12回	授業設計と模擬授業:5時間 ア 研究題材の提示 イ 授業展開構想の発表 ウ 模擬授業					
	第13回	授業設計と模擬授業:5時間 ア 研究題材の提示 イ 授業展開構想の発表 ウ 模擬授業					
	第14回	総合的な学習の時間の年間展開構想の立案と発表 ア テーマの設定 イ 年間展開構想の提出					
	第15回	総合的な学習の時間の年間展開構想の立案と発表 イ 年間展開構想の提出					
単位認定・評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期	
科目名	教職実践演習(幼稚園)	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	1. これまで修得した保育の専門知識の振り返りによって保育の専門的基礎力の定着を図る。 2. 専門的知識技能の実践への応用、課題解決能力を高める。					
授業概要	現在の保育実践上の課題、子どもや子育てに関わる環境上の諸問題を自ら発見し、その改善に向けての方策を考える。 問題発見能力、課題解決能力、実践への積極的態度を養うため、現在の保育問題(少子化、保育制度、子育て支援、幼小連携等)について調べ、身近な具体的課題を設定し、テーマ毎に研究、グループ討議、研究発表を行う。					
テキスト	配布資料					
授業計画	第1回	保育者の専門性とは何か				
	第2回	日本における保育実践上の課題について① 児童福祉行政における問題点				
	第3回	日本における保育実践上の課題について② 児童虐待				
	第4回	日本における保育実践上の課題について③ 多文化保育				
	第5回	日本における保育実践上の課題について① 統合保育				
	第6回	日本における保育実践上の課題について① 児童虐待				
	第7回	グループ討議① 保育における地域との連携について				
	第8回	グループ討議② 現代の保護者の子育て意識と保育施設、保育者の役割について				
	第9回	グループ討議③ 都市化現象が子どもの生活と発達に及ぼす影響について				
	第10回	グループ討議④ 保護者支援の方法について				
	第11回	グループ討議まとめ 模擬授業①				
	第12回	グループ討議まとめ 模擬授業②				
	第13回	グループ討議まとめ 模擬授業③				
	第14回	子どもの遊びを豊かにする環境構成、材料、保育者の関わりについて				
	第15回	まとめ 保育者に求められる質とは何か				
単位認定 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年
科目名	教育実習(初等) I	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<p>1. 実習生の姿勢・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マナーを守り、意欲的に取り組む ・礼儀正しく、謙虚な姿勢で学ぶ ・自分から進んで質問をし、実践的な学びを深める ・実習園の特色や保育方針を理解し、課題を明確にして実習に臨む ・「今日の課題」を考察し、「明日の課題」を明確にしながら学びを積み上げようとする ・「個」と「集団」に積極的に関わり、観察し学びを深める <p>2. 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の「前に立つ」ための準備をして実習に臨む ・3歳児から5歳児の発達を理解し実習に臨む ・保育におけるPDCAサイクルを理解する ・ピアノや絵本の読み聞かせなど、保育技術を磨いて実習に臨み、実践の場においてさらなる向上を目指す ・幼児の言動から心情を感じとりながら、関わるができる <p>3. 実習日誌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年齢の発達の特徴や保育の流れやつながりを理解して時系列に記録ができる ・幼児に対する保育者の働きかけを具体的に記録できる ・幼児の姿を観察し、場面の記録を書くことができる ・「気づき」を書く事ができる ・保育者の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くことができる ・「個」と「集団」の姿を記録できる ・幼児との関わりを詳細に記録し、省察することができる <p>4. 指導案</p> <ul style="list-style-type: none"> ※教育実習 I では、記録に重点を置き、指導案は教育実習 II の課題とする ・子どもの姿を予測し、配慮事項や留意点を挙げることができる ・導入、展開、まとめを一連の流れとして立案できる <p>5. 手続きと提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日を守り、自主的に進められる ・期日を確認し、計画的に進められる 				
授業概要	<p>実際に幼稚園の生活を体験する中で、園生活の流れと幼児の生活、発達の姿、幼稚園教諭の職務を理解できるように指導する。</p> <p>教育実習 I での経験を基礎として、観察や指導案に基づいた実践を行う。幼稚園の教育理念や教育課程を把握し、「個」と「集団」の理解、幼稚園教諭の職務に対する理解等がさらに深まるよう指導する。また、指導案を作成し実践的な体験を通して学べるよう指導する。</p>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解当の等の基準に基づく)</p> <p>及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年
科目名	教育実習(初等)Ⅱ	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<p>(1) 教師としての責務を自覚するとともに、良識ある社会人としての言動ができる。</p> <p>(2) 子どもたちに対する愛情と教育に対する情熱をもって、接することができる。</p> <p>(3) 子どもたちの実態を踏まえ、着実に力をつけられるような学習指導案の作成と、現代の学校現場で求められる基礎的な技術を駆使した授業展開ができるようにする。</p> <p>(4) 授業時における様々な子どもに対応した指導や支援のあり方を学ぶ。</p> <p>(5) 実習日誌の記録方法を身につける。</p>				
授業概要	<p>1 子ども理解を実際に子どもたちとふれあう。</p> <p>2 教材研究をしっかりと行い、学習指導案を作成し、授業技術を磨く。</p> <p>3 学級経営、生徒指導について理解し、学級経営力を身に付ける。</p> <p>4 道徳、特別活動について理解し、授業実践を行う。</p> <p>5 校務分掌、学校事務、PTA、地域社会等について理解を深める。</p> <p>6 地域に根ざした学校教育現場の姿を知る。</p>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき)及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	後期	
科目名	教職実践演習(養護教諭)	授業形態	講義	単位数	1単位	
担当教員	高橋 百合子	実務経験の有無	×			
実務経験教員の経歴						
授業のねらい (到達目標)	①養護教諭免許として現場で働くために自己の課題は何かみつける ②自己課題を克服するために研鑽を積むべき事項を説明することができる ③これからの養護教諭に必要なことを考える					
授業概要	養護実習やこれまでの養護に関する履修科目を振り返り、各自が何を学び、何を学んでいないかを明確にする。その上で、自己の課題を挙げ、学生同士でその課題を共有し、いかに克服していくかを考える。不足している知識・技術について学びを深め、演習を行う。					
テキスト	なし					
授業計画	第1回	実習の振り返り				
	第2回	実習報告①実習内容について				
	第3回	実習報告②保健指導について				
	第4回	実習報告③場面指導について				
	第5回	4年間の学びの振り返り				
	第6回	養護教諭としての自己課題を考える				
	第7回	課題発表と研鑽を積むべき事項について				
	第8回	演習計画立案				
	第9回	課題演習①				
	第10回	課題演習②				
	第11回	課題演習③				
	第12回	課題演習④				
	第13回	課題演習⑤				
	第14回	これからの養護教諭に求められること				
	第15回	養護のまとめ				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(前期)	
科目名	卒業研究	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	宮城県公立小中学校 1.5か年, 山形県小学校教員9か年, 国立大学法人教員養成系大学および大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2か年					
授業のねらい (到達目標)	卒業研究執筆に向けた基礎的な知識を獲得し, 論文主題(テーマ), 論文構成につなげるスキルを培う。					
授業概要	① 卒業研究とは ②卒業研究の流れ ③卒業研究に必要な基礎的なスキル ④ ブックレビュー執筆 ⑤テーマ設定 ⑥参考資料収集 ⑦論文構成立案					
テキスト	学生のレポート・論文作成トレーニング (桑田てるみ編, 実教出版, 2018)					
授業計画	第1回	卒業研究とは……論文とは何か				
	第2回	卒業研究とは……テーマと題材, 資料				
	第3回	論文のルール, 種類				
	第4回	ブックレビュー執筆				
	第5回	論文を書くための基礎能力				
	第6回	論文を書くための基礎能力				
	第7回	論文を書くための基礎能力				
	第8回	論文を書くための基礎能力				
	第9回	論文を書くための基礎能力				
	第10回	論文を書くための基礎能力				
	第11回	論文を書くための基礎能力				
	第12回	論文を書くための基礎能力				
	第13回	テーマ設定				
	第14回	テーマと理由(論文主題設定と理由)発表意見交流会				
	第15回	テーマと理由(論文主題設定と理由)発表意見交流会, 執筆				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(後期)	
科目名	卒業研究	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	宮城県公立小中学校 1.5か年, 山形県小学校教員9か年, 国立大学法人教員養成系大学および大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2か年					
授業のねらい (到達目標)	卒業研究執筆に向けた基礎的な知識を獲得し, 論文主題(テーマ), 論文構成につなげるスキルを培う。					
授業概要	立案した卒業研究計画に基づき, 執筆要項に沿って, 卒業論文執筆を行う。					
テキスト	学生のレポート・論文作成トレーニング (桑田てるみ編, 実教出版, 2018)					
授業計画	第1回	各学生の進捗状況報告と意見交換				
	第2回	各学生の進捗状況報告と意見交換				
	第3回	卒業論文執筆				
	第4回	卒業論文執筆				
	第5回	卒業論文執筆				
	第6回	卒業論文執筆				
	第7回	卒業論文執筆				
	第8回	卒業論文執筆				
	第9回	卒業論文執筆				
	第10回	卒業論文執筆				
	第11回	卒業論文執筆				
	第12回	卒業論文執筆				
	第13回	卒業論文執筆				
	第14回	卒業研究発表会				
	第15回	卒業研究発表会				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(前期)									
科目名	情報処理Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位									
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイム													
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。													
授業概要	Excel2016を用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。MOS Excel2016 検定合格を目指す。													
テキスト	Excel2016セミナーテキスト基礎・Excel2016対策テキスト&問題集													
授業計画	第1回	本演習のガイダンス、ネットワーク接続、プリンタ設定 Excelの基本操作												
	第2回	表の作成												
	第3回	四則演算と関数1												
	第4回	四則演算と関数2												
	第5回	表の編集1												
	第6回	表の編集2												
	第7回	基礎まとめと復習												
	第8回	ワークシートやブックの作成と管理1												
	第9回	ワークシートやブックの作成と管理2												
	第10回	ワークシートやブックの作成と管理3												
	第11回	セルやセル範囲のデータ管理1												
	第12回	セルやセル範囲のデータ管理2												
	第13回	数式や関数を使用した演算の実行1												
	第14回	数式や関数を使用した演算の実行2												
	第15回	数式や関数を使用した演算の実行3												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総合評価 算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠										
	50%	25%	10%	15%										
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する														

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(後期)		
科目名	情報処理Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイム						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。						
授業概要	Excel2016を用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。MOS Excel2016 検定合格を目指す。						
テキスト	Excel2016セミナーテキスト基礎・Excel2016対策テキスト&問題集						
授業計画	第1回	グラフやオブジェクトの作成1					
	第2回	グラフやオブジェクトの作成2					
	第3回	模擬1(演習)					
	第4回	模擬1(演習)					
	第5回	模擬1(テスト)					
	第6回	模擬2(演習)					
	第7回	模擬2(テスト)					
	第8回	模擬3(演習)					
	第9回	模擬3(テスト)					
	第10回	模擬4(演習)					
	第11回	模擬4(テスト)					
	第12回	模擬5(演習)					
	第13回	模擬5(テスト)					
	第14回	実力判定(演習)					
	第15回	実力判定(テスト)					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(前期)									
科目名	情報処理Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	金子 憲史	実務経験の有無		○										
実務経験教員の経歴	テクノスクールでのパソコン技術指導													
授業のねらい (到達目標)	就職してから作成することになるおたよりを作成できるようにする(ひな型を使用せずに新規で作成する)後期の最終成果物であるデジタル絵本をPowerPointで作成してもらうため、PowerPointの基本操作をおさえる													
授業概要	前半:Wordを用いたおたより作成(作成上のポイント説明後、各自演習) 後半:PowerPointの基本操作(前期期末試験はPowerPointで行う)													
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・おたより文例&イラストカットBOOK ・できるPowerPoint2016 													
授業計画	第1回	オリエンテーション												
	第2回	おたより作成演習												
	第3回	おたより作成演習												
	第4回	前期中間課題作成												
	第5回	前期中間課題作成												
	第6回	おたより作成演習 図形操作中心の事例												
	第7回	おたより作成演習 表機能の活用												
	第8回	おたより作成演習 又は 最終成果物ガイダンス												
	第9回	PowerPoint基本操作												
	第10回	PowerPoint基本操作												
	第11回	PowerPoint基本操作												
	第12回	PowerPoint基本操作												
	第13回	期末前演習												
	第14回	期末前演習												
	第15回	期末前演習												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総合評価 算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠										
	50%	25%	10%	15%										
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する														

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(後期)		
科目名	情報処理Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	金子 憲史	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	テクノスクールでのパソコン技術指導						
授業のねらい (到達目標)	デジタル絵本の作成						
授業概要	画像・図形の作成・編集、アニメーションの設定、音楽の挿入など、デジタル絵本作成に役立つ機能を演習を通じて扱う。 9コマ目にデジタル絵本の絵コンテを提出してもらう。後期中間試験は図形の作成・編集をメインにした成果物作成。						
テキスト	なし						
授業計画	第1回	ペイントを用いた描画演習					
	第2回	ミュージックビデオの作成					
	第3回	写真入りの年賀状作成					
	第4回	メッセージカードの作成、最終成果物ガイダンス					
	第5回	メッセージカードの作成、最終成果物ガイダンス					
	第6回	アニメーションの総合演習、最終成果物ガイダンス					
	第7回	中間試験前演習					
	第8回	後期中間試験					
	第9回	デジタル絵本の作成					
	第10回	デジタル絵本の作成					
	第11回	デジタル絵本の作成					
	第12回	デジタル絵本の作成					
	第13回	デジタル絵本の作成					
	第14回	デジタル絵本の作成					
	第15回	デジタル絵本の作成					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(前期)									
科目名	リトミック応用	授業形態	演習	単位数	2単位									
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導16年													
授業のねらい (到達目標)	年齢別のリトミック指導法をティーチングを通して理解する。 簡単なリトミック遊びを身に付け実習や就職してからできるよう実践力をつける。													
授業概要	保育園において、指導者が園児に指導している様子を1歳児～5歳児まで見学し、年齢別指導法を学習する。 いろいろなリトミックの手法を実際に動きながら、ねらいも含めて学習し、就職してから実践できるようにリトミックの楽しさを体験する。													
テキスト	リズム&ゲームにどっぷり/世界の歌を遊ぶリトミック・ゲーム67選 子どものためのリトミックde発表会/アクション&ビートでつくる音楽鑑賞の授業													
授業計画	第1回	新潟えきなか保育園リトミック指導見学												
	第2回	新潟えきなか保育園リトミック指導見学												
	第3回	からだのなかの音楽												
	第4回	ビートにのる①												
	第5回	ビートにのる②												
	第6回	拍子を感じる①												
	第7回	拍子を感じる②												
	第8回	フレーズ・呼吸・空間①												
	第9回	フレーズ・呼吸・空間②												
	第10回	ロープdeゲーム～イメージあそび～												
	第11回	対話を楽しもう～即興演奏～												
	第12回	歌&楽器deゲーム①												
	第13回	歌&楽器deゲーム②												
	第14回	音楽と動き												
	第15回	自然な動きを用いた音楽ゲーム												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総合評価 算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠										
	50%	25%	10%	15%										
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する														

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(後期)									
科目名	リトミック応用	授業形態	演習	単位数	2単位									
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導16年													
授業のねらい (到達目標)	年齢別のリトミック指導法をティーチングを通して理解する。 簡単なリトミック遊びを身に付け実習や就職してからできるよう実践力をつける。													
授業概要	保育園において1歳児～5歳児まで実際に学生が指導計画案を立て指導する。 いろいろなリトミックの手法を実際に動きながらねらいも含めて学習し、就職してから応用できるように楽しい体験をする。													
テキスト	リズム&ゲームにどっぷり/世界の歌を遊ぶリトミック・ゲーム67選 子どものためのリトミックde発表会/アクション&ビートでつくる音楽鑑賞の授業													
授業計画	第1回	新潟えきなか保育園リトミック指導												
	第2回	新潟えきなか保育園リトミック指導												
	第3回	音楽の「かたち」を体験①												
	第4回	音楽の「かたち」を体験②												
	第5回	音楽の「つながり」を体験①												
	第6回	音楽の「つながり」を体験②												
	第7回	ボディー・パーカッション												
	第8回	旋律や動きの体験												
	第9回	いろいろなリズム・ゲーム												
	第10回	リズムの変化を楽しむ												
	第11回	旋律・フレーズ・形式・和音の変化を味わう												
	第12回	創造的な動きを楽しむ												
	第13回	リトミックと発表会												
	第14回	幼児のリトミック発表会												
	第15回	さまざまなリトミック発表会												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総合評価 算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠										
	50%	25%	10%	15%										
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する														

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(前期)			
科目名	RGS	授業形態	演習	単位数	1単位			
担当教員	本田 拓也	実務経験の有無		×				
実務経験教員の経歴								
授業のねらい (到達目標)	社会的・職業的自立、学校から社会・職業への円滑な移行に必要な力に含まれる要素としては、就職活動上の基礎的・基本的な知識・技能、基礎的・汎用的能力、論理的思考力、意欲・態度及び価値観、専門的な知識・技能を身につける。就職内定力およびこれからの社会人生活に必要な知見を身につける。							
授業概要	就職活動を行う際に必要となる、履歴書等応募書類の作成をする。 また、模擬就職試験を行い、就職内定を獲得するためのスキルを身につける。							
テキスト	配布のデジタルデータ(PPT/PDF/WORD/EXCEL)							
授業計画	第1回	1. 就職活動の概要 (1) RGSの今後の予定 (2) 就職活動をめぐる現在の社会状況 (3) 今日以降の準備						
	第2回	2. 就職活動について (1) 各自の就職活動上の課題洗い出しと目標設定						
	第3回	2. 就職活動について (1) 各自の就職活動上の課題洗い出しと目標設定 (2) 求人票見方(雇用形態等)						
	第4回	3. 電話の掛け方 アポどり (1) 一連の流れと注意点の理解 (2) 電話練習						
	第5回	4. 応募書類の準備(word、封筒用意) (1) 一連の流れと注意点の理解 (2) 封筒・添え状・履歴書・証明書の準備						
	第6回	4. 応募書類の準備(word、封筒用意) (1) 一連の封筒・添え状・履歴書・証明書の準備						
	第7回	4. 応募書類の準備(word、封筒用意) (1) 一連の流れと注意点の理解						
	第8回	5. 面接 (1) 直接、口頭にて、相手に伝わる形で自己アピールできるようになる 面接でのふるまいと、必要な準備を理解し、実践できるようになる (2) 想定される質問と対策 (3) 面接のポイントとマナー						
	第9回	5. 面接 (1) 直接、口頭にて、相手に伝わる形で自己アピールできるようになる 面接でのふるまいと、必要な準備を理解し、実践できるようになる (2) 想定される質問と対策 (3) 面接のポイントとマナー						
	第10回	5. 面接 (1) 直接、口頭にて、相手に伝わる形で自己アピールできるようになる 面接でのふるまいと、必要な準備を理解し、実践できるようになる (2) 想定される質問と対策 (3) 面接のポイントとマナー (4) 模擬面接課題の説明						
	第11回	6. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認						
	第12回	6. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認						
	第13回	6. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認						
	第14回	6. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認						
	第15回	6. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認						
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する								

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	4学年	開講期	通年(後期)		
科目名	RGS	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	本田 拓也	実務経験の有無		×			
実務経験教員の経歴							
授業のねらい (到達目標)	社会的・職業的自立、学校から社会・職業への円滑な移行に必要な力に含まれる要素としては、就職活動上の基礎的・基本的な知識・技能、基礎的・汎用的能力、論理的思考力、意欲・態度及び価値観、専門的な知識・技能を身につける。就職内定力およびこれからの社会人生活に必要な知見を身につける。						
授業概要	就職活動を行う際に必要となる、履歴書等応募書類の作成をする。 また、模擬就職試験を行い、就職内定を獲得するためのスキルを身につける。						
テキスト	配布のデジタルデータ(PPT/PDF/WORD/EXCEL)						
授業計画	第1回	1. グループディスカッション 「少子化社会が問題化しているが、その解決について」					
	第2回	1. グループディスカッション 「少子化社会が問題化しているが、その解決について」					
	第3回	2. グループディスカッション 「児童虐待防止のために、保育士ができること」					
	第4回	2. グループディスカッション グループごとに発表 「児童虐待防止のために、保育士ができること」					
	第5回	3. 面接 (1) 直接、口頭にて、相手に伝わる形で自己アピールできるようになる ・面接でのふるまいと、必要な準備を理解し、実践できるようになる (2) 想定される質問と対策 (3) 面接のポイントとマナー (4) 模擬面接課題の説明					
	第6回	4. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第7回	4. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第8回	4. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第9回	4. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第10回	4. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第11回	5. 働くうえでどんな法律や制度があるか ・労働基準法、育児・介護休業法、男女雇用機会均等法					
	第12回	5. 働くうえでどんな法律や制度があるか ・労働基準法、育児・介護休業法、男女雇用機会均等法					
	第13回	6. 労働契約と職場の人間関係					
	第14回	6. 労働契約と職場の人間関係					
	第15回	7. 内定の意味とこれから生きていくには					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							